



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日  
東

上場会社名 株式会社ジェーシー・コムサ 上場取引所  
コード番号 2876 URL <http://jc-comsa.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)和田 隆介  
問合せ先責任者 (役職名)専務取締役CFO (氏名)今井 福三 (TEL) 03(5722)7261  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,916	△4.4	183	34.6	169	15.4	93	19.4
27年3月期第1四半期	4,095	0.8	136	△39.3	146	△33.7	78	△36.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 104百万円(43.2%) 27年3月期第1四半期 72百万円(△41.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第1四半期	円 銭 10.25	円 銭 —
27年3月期第1四半期	9.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第1四半期	百万円 8,887	百万円 3,809	% 42.9
27年3月期	8,941	3,796	42.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,809百万円 27年3月期 3,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,430	2.5	680	3.0	670	12.0	330	71.8	36.24

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	9,105,290株	27年3月期	9,105,290株
28年3月期1Q	91株	27年3月期	91株
28年3月期1Q	9,105,199株	27年3月期1Q	8,206,293株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政治主導による金融政策、財政政策等に支えられ、企業業績が改善傾向にあるなど、景気回復の兆しが見られるものの、物価上昇や消費税増税に対する警戒感は強く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食料品・外食業界におきましては、一部で消費回復傾向が見られるものの、雇用情勢の改善の遅れや消費税増税、電気料金の値上げなどによる先行き不安から消費者の節約志向は依然として高く、円安を中心とした影響による原材料の高騰や、低価格品と高付加価値のプレミアム品との二極化が一段と強まる中で引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中で、当社グループは経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,916百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は183百万円（同34.6%増）、経常利益は169百万円（同15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は93百万円（同19.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①食料品事業

『デルソーレ小麦ごはん』という提案型商品戦略を展開し、大手スーパー店頭等でのキャラバン隊によるマーケティング活動の強化等によって、ブランド認知度をより一層高めるプロモーション施策に取り組むとともに、各業態別の拡販に向けた戦略的な営業活動ならびに「ビスケット」等の新製品投入をはじめとしたマーチャンダイズ戦略によって、着実に売上及び利益を確保してまいりました。

また、生産部門におきましては適正な製品供給を確保するために柔軟な生産体制をもって対応し、高品質で安全・安心なシステムづくりに取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間ではデルソーレブランディング効果等により、売上高は2,768百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は312百万円（同13.2%増）となりました。

#### ②外食事業

52期の期首にあたり店舗人員体制を整備し、既存店舗の収益力の強化に取り組んでまいりました。上海エクスプレスブランドにおいては、収益構造の改善を図るため、1店舗をフランチャイズ化しております。鯛焼きブランドにおいては、文楽焼本舗鬼平江戸処店（東北自動車道羽生PA上り線内）の「お好み鯛焼き」がメディアに取り上げられ売上及び利益において大きく貢献しました。また、お台場アクアシティ内にて平成27年7月に開店を迎えた「をどり」3号店の開業準備も着実に進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間では、前期に対して店舗数が9店舗減少していることもあり、売上高は1,152百万円（前年同四半期比6.5%減）、セグメント利益は43百万円（同470.7%増）となりました。

#### ③事業開発事業

当社の中長期の事業戦略の中で、事業開発本部の体制の整備を図ったこと等を踏まえ、報告セグメントにつきまして、従来の「海外事業」から、既存の海外事業に加えて国内外で事業化を検討している新規事業も含めた「事業開発事業」に変更しております。

なお、当該変更に伴う四半期累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間では中国関連事業で投資損失が発生しました。また、インドネシアにおける事業では、まだ一般的でない生パスタとナポリ風ピザという差別化メニューを展開しつつ、日本の高品質な料理とサービスを提供するハラル対応レストランとして引き続き現地に根差した店舗展開を計っていく中で、平成27年5月にイオンが初めて開いたショッピングモールに「PopoIamama」ブランドの4号店目の出店を行いました。出店に関する諸経費の計上等により持分法適用の関連会社の投資損失が発生しました。

結果として、当第1四半期連結累計期間では、セグメント損失は30百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ54百万円減少し8,887百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少があったこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ67百万円減少し5,077百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少があったこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ13百万円増加し3,809百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当金の支払による減少があった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、現時点では平成27年5月11日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,682,152	1,598,327
受取手形及び売掛金	2,314,569	2,246,190
商品及び製品	429,115	465,192
原材料及び貯蔵品	271,674	317,593
その他	254,748	262,698
貸倒引当金	△3,291	△3,143
流動資産合計	4,948,969	4,886,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,083,345	4,087,513
減価償却累計額	△3,044,109	△3,075,518
建物及び構築物(純額)	1,039,236	1,011,995
その他	3,440,534	3,490,079
減価償却累計額	△2,308,767	△2,340,033
その他(純額)	1,131,767	1,150,045
有形固定資産合計	2,171,004	2,162,041
無形固定資産	261,151	261,755
投資その他の資産		
その他	1,575,124	1,591,161
貸倒引当金	△15,027	△14,727
投資その他の資産合計	1,560,097	1,576,433
固定資産合計	3,992,253	4,000,231
資産合計	8,941,222	8,887,091
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,454,861	1,511,779
短期借入金	627,500	777,500
未払法人税等	162,603	43,199
賞与引当金	131,300	48,611
資産除去債務	1,890	—
その他	707,621	701,357
流動負債合計	3,085,776	3,082,447
固定負債		
長期借入金	610,000	557,500
役員退職慰労引当金	330,572	338,098
退職給付に係る負債	438,067	418,172
資産除去債務	630,457	631,442
その他	49,912	49,557
固定負債合計	2,059,009	1,994,770
負債合計	5,144,786	5,077,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	1,576,145	1,578,457
自己株式	△1	△1
株主資本合計	3,758,289	3,760,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,858	28,358
繰延ヘッジ損益	212	117
為替換算調整勘定	19,076	20,950
退職給付に係る調整累計額	—	△154
その他の包括利益累計額合計	38,147	49,271
純資産合計	3,796,436	3,809,872
負債純資産合計	8,941,222	8,887,091



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,095,526	3,916,538
売上原価	2,511,823	2,354,327
売上総利益	1,583,702	1,562,210
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	589,799	553,415
賞与引当金繰入額	33,803	34,928
退職給付費用	9,798	10,004
役員退職慰労引当金繰入額	8,109	7,526
その他	806,024	773,082
販売費及び一般管理費合計	1,447,534	1,378,957
営業利益	136,168	183,252
営業外収益		
受取利息	2	12
受取配当金	4,427	727
持分法による投資利益	9,504	—
受取賃貸料	1,479	1,420
受取補償金	—	1,971
貸倒引当金戻入額	40	60
その他	2,018	2,586
営業外収益合計	17,471	6,778
営業外費用		
支払利息	3,854	2,743
持分法による投資損失	—	15,570
その他	3,118	2,513
営業外費用合計	6,972	20,826
経常利益	146,667	169,204
特別損失		
減損損失	12,507	—
固定資産除却損	916	2
特別損失合計	13,424	2
税金等調整前四半期純利益	133,243	169,202
法人税、住民税及び事業税	18,272	22,844
法人税等調整額	36,781	52,994
法人税等合計	55,054	75,838
四半期純利益	78,188	93,363
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,188	93,363

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	78,188	93,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,141	9,500
繰延ヘッジ損益	△326	△94
為替換算調整勘定	△186	1,404
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,829	314
その他の包括利益合計	△5,201	11,124
四半期包括利益	72,987	104,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,987	104,488

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	食料品事業	外食事業	事業開発事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,862,689	1,232,837	—	4,095,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,867	—	—	5,867
計	2,868,556	1,232,837	—	4,101,393
セグメント利益又は損失 (△)	276,308	7,613	△12,763	271,158

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	271,158
全社費用(注)	△137,986
棚卸資産の調整額	70
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	133,243

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食料品事業	外食事業	事業開発事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,763,986	1,152,551	—	3,916,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,928	—	—	4,928
計	2,768,915	1,152,551	—	3,921,467
セグメント利益又は損失(△)	312,733	43,454	△30,510	325,676

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	325,676
全社費用(注)	△156,255
棚卸資産の調整額	△218
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	169,202

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。当社の中長期の事業戦略の中で、事業開発本部の体制の整備を図ったこと等を踏まえ、従来の報告セグメントである「海外事業」の呼称を「事業開発事業」に変更しております。「事業開発事業」には、既存の海外事業に加えて国内外で事業化を検討している新規事業も含めております。このセグメント変更によるセグメント情報に与える影響はありません。